CD−RW/ DVD−ROMドライブ
ユーザーズマニュアル(PDFファイル)

USBで接続する方へ

IEEE1394で接続する方へ

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

CD−RW/ DVD−ROMドライブ
ユーザーズマニュアル(PDFファイル)

USBで接続する方へ

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

次のページへ→

取り付け

取り付け

ソフトウェアのインストール

ＣＤ書き込み

ＤＶＤ再生

取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

←前のページへ 次のページへ→

取り付け

セットアップのながれ

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットする

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って
本製品をセットアップ(取り付け・USBドライバのインストール)する

▼

付属のユーティリティCDで付属のソフトウェアをインストールする

注意・メモ

注意

- 別紙「はじめにお読みください」と併せてお読みください。
- 本製品を取り付ける前に、ハードディスクなどの大切なデータは他のメディアにバックアップ(保存)してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定は、各マニュアルを参照してください。

注意

本製品にユーティリティCDをセットしてドライバをインストールすることはできません。パソコンに標準搭載されているCD・DVDドライブに付属のCD-ROMをセットしてインストールしてください。CD・DVDドライブを搭載していないパソコンをお使いのときは、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)より、本製品のドライバディスクをダウンロードしてください。

←前のページへ 次のページへ→

取り付けの前に

本製品をパソコンに取り付ける前に、次の事項にご注意ください。

- 本製品を取り付ける前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディアにバックアップ(保存)し、すべてのアプリケーションを終了してください。
- パソコン本体にUSBコネクタが装備されていないときは、弊社製USBインターフェースを別途ご用意ください。
- 本製品は、パソコン本体(またはUSBハブ)のUSBコネクタか、IEEE1394コネクタに接続してください。両方のコネクタに同時に接続して使用することはできません。
- 1台のパソコンに、USB/IEEE1394接続のCD・DVDドライブ(本製品を含む)を2台以上接続して使用することはできません。
- 本製品は、パソコン本体の省電力機能(サスペンド機能、スリープ機能など)には対応していません。
  パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

●パソコンおよび本製品は精密機器です。別紙「はじめにお読みください」に記載されている「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。

●本製品で書き込みをしているときは、USBケーブルに触れないでください。書き込み中にケーブルを抜き差しすると、正常に書き込めません。

●CyberTrio-NXがインストールされているPC98-NXシリーズでは、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windowsの設定が変更できないことがあります。
パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

取り付け方法

付属のユーティリティCDに収録されている「簡単セットアップ」の指示に従ってセットアップ(取り付け・ドライバのインストール)をします。

セットアップが完了すると、本製品のデバイスが、デバイスマネージャに登録されます(デバイス名は製品によって異なります)。

注意・メモ

メモ

別紙 「はじめにお読みください」 を参照してセットアップしてください。

メモ

- 登録されるデバイス名については別紙「はじめにお読みください」を参照してください。
- デバイスマネージャの表示のさせ方についてはWindowsのヘルプを参照してください。

注意

- 必ず付属のケーブルで接続してください。付属品以外のケーブルでの使用は、弊社では保証しておりません。

ソフトウェアのインストール

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

←前のページへ 次のページへ→

ソフトウェアのインストール

CD-R/RWメディアに書き込みをするためには、ライティングソフトウェアをインストールする必要があります。

●必要なシステム環境

CD-R/RWメディアに書き込みするためには、次の環境が必要です。

CPU	Pentium166MHz以上(PentiumII233MHz以上推奨)
メモリ	128MB以上(WindowsXP) 96MB以上(Windows2000) 64MB以上(WindowsMe/98SE/98)
グラフィック	解像度800×600ドット以上、 High Color(16ビット)色以上
ハードディスク容量	インストール時に20MB、 書き込みの一時的な作業領域として 約50～800MB必要

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

2 [WinCDR Liteのインストール](または、[PacketManのインストール]、[WinCDRのインストール])を選択し、[開始]をクリックします。
※製品によって付属するソフトウェアは異なります。

以降は、画面の表示に従ってインストールしてください。

注意・メモ

メモ

- 「簡単セットアップ」が起動しないときは、ユーティリティＣＤ内の アイコン(Easysetup.exe)をダブルクリックしてください。
- WinCDR Lite、WinCDR、PacketManの違いは、「ライティングソフトウェアの特徴」をお読みください。

注意

PacketManで書き込んだメディアを、PacketManをインストールしていないパソコンで読み出すには、ドライバをインストールする必要があります。
付属のユーティリティCDをセットし、簡単セットアップから[PacketMan　Readerのインストール]を選択し、[開始]をクリックしてください。

←前のページへ 次のページへ→

☆プレーヤソフトウェアのインストール

DVD-VideoやVideo CDを再生するためには、本製品付属の「WinDVD」をインストールする必要があります。

●必要なシステム環境
WinDVDを使用するには次の環境が必要です。

CPU	PentiumII 350MHz以上
メモリ	64MB以上(WindowsXP/2000) 32MB以上(WindowsMe/98SE/98)
グラフィックボード	DirectX7およびハードウェアオーバーレイに対応したボード
ハードディスク容量	20MB以上の空き容量
サウンドボード	48KHzステレオ再生オーディオシステムに対応したボード(弊社製SDP-AU30など)

USB1.1で接続したときは、転送速度が0.7倍速に制限されるため、DVD-Video再生時にコマ落ち、音飛びが発生します。

注意・メモ

注意
WinDVDは必ずインストールしてください。本製品にセットしたメディアから動画を再生するにはWinDVDを使用してください。

メモ
インストールの前に、本製品をパソコンに取り付けておいてください。

注意
- Permedia2を搭載するグラフィックボードには非対応です。
- WinDVDのReadmeファイルには、必要最低限の環境が記載されています。なめらかに動画を再生するためには、左記の環境が必要です。

←前のページへ 次のページへ→

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

2 [WinDVDのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

3 [WinDVDセットアップへようこそ]画面が表示されたら、[次へ(N)>]をクリックします。

4 [使用許諾契約]画面が表示されたら、内容をよく読んで[はい(Y)]をクリックします。

5 [ユーザの情報]画面が表示されたら、名前・所属・シリアル番号を入力し、[次へ(N)>]をクリックします。

6 [インストール先の選択]画面が表示されたら、インストールするフォルダを選択して[次へ(N)>]をクリックします。

注意・メモ

メモ

「簡単セットアップ」が起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内のアイコン(Easysetup.exe)をダブルクリックしてください。

メモ

[いいえ(N)]をクリックした場合、WinDVDのインストールは中断されます。

メモ

シリアル番号は、CD-ROMケースの表面に記載されている文字列です。

メモ

通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

←前のページへ 次のページへ→

7 [プログラムフォルダの選択] 画面が表示されたら、WinDVDを登録するフォルダを選択して [次へ(N)>] をクリックします。

8 [セットアップの完了] 画面が表示されたら、[完了] をクリックします。ファイルのコピーが開始されます。

9 [サードパーティーアプリケーション] 画面が表示されたら、「Microsoft DirectX8」と「Microsoft HTML Help」にチェックがついているのを確認して、[次へ(N)] をクリックします。

10 「Direct X setup needs to restart your machine. Please OK to restart now.」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。パソコンが再起動します。

以上でインストールは完了です。

注意・メモ

メモ

通常は初期設定から変更する必要はありません。

メモ

WindowsXP など、DirectX8 以降がインストールされているパソコンではこのメッセージは表示されません。

☆静音ユーティリティのインストール

「静音ユーティリティ」を使用すれば、読み出し速度を下げて静かに駆動します。必要に応じてインストールしてください。

「静音ユーティリティ」が付属しない製品もあります。別紙「はじめにお読みください」にて付属品をご確認ください。

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

2 [静音ユーティリティのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

以降は、画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

注意・メモ

メモ

「静音ユーティリティ」をアンインストールしたいときは、［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］から、［アプリケーションの追加と削除］を実行してください。［静音ユーティリティ］を選択して、［追加と削除］をクリックするとアンインストールされます。

←前のページへ 次のページへ→

ＣＤ書き込み

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

ＣＤ書き込み

☆書き込み

メディアにデータを書き込むときは、付属のライティングソフトウェアを使用します。

ライティングソフトウェアのインストール方法は、「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

注意・メモ

メモ

一度書き込んだCD-R/RWメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

←前のページへ 次のページへ→

ライティングソフトウェアの特徴

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」にて付属品をご確認ください。

●WinCDR(Windows用)
音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます(ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます)。

●WinCDR Lite(Windows用)
オリジナルの音楽CDやデータCDの作成、CDのバックアップが簡単にできるWinCDRの簡易版です(詳細設定はできません)。

- 音楽CDの作成・CDのバックアップはディスクアットワンス方式、データCDの作成はトラックアットワンス方式で書き込まれます。
- WinCDR Liteで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます(ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます)。

注意・メモ

メモ

- ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

メモ

- ディスクアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています(自動的に設定されます。個別設定はできません)。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

←前のページへ 次のページへ→

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」にて付属品をご確認ください。

●PacketMan(Windows用)

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

- 小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、ファイルを削除できます。

●MacCDR(MacOS用)

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- CDのバックアップが可能です。
- HFS（Apple専用ファイルシステム）とHybrid（ISO9660とHFSフォーマットの混在フォーマット）での書き込みが可能です。

※ Hybrid形式で作成したCDは、MacintoshとWindowsの両方で読み出せます。

注意・メモ

メモ

- パケットライト方式の書き込みに対応しています。
- CD-RWメディアを使用している場合は、削除によって空き容量が増えますが、CD-Rメディアの場合は増えません（削除情報が書き込まれます）。

注意

100MBを超える大容量のファイルを書き込むときはWinCDRまたはWinCDR Liteを使用してください。

メモ

ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。

注意

Macintoshのスリープ機能は必ず無効にしておいてください。有効になっていると、書き込みに失敗することがあります。

←前のページへ 次のページへ→

書き込み方式

メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。ライティングソフトによって対応している書き込み方式は異なります。【ライティングソフトウェアのヘルプ参照】

●ディスクアットワンス方式
- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる(容量が残っていても追記できない)。
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

●トラックアットワンス方式
- ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記ができる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●セッションアットワンス方式
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●パケットライト方式
- パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込みができる。
- パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

注意・メモ

メモ

- 2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください(WinCDR、MacCDR)。
- 1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。

CD-RW の制限事項

●CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

●データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

●CD-RWメディアに4倍速を超える速度で書き込みをする場合、

HighSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。
HighSpeedに対応したCD-RWメディアには、次のロゴが表示されています。

●CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。

CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。

注意・メモ

メモ

このロゴは、フィリップス社が著作権を有しています。

メモ

使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

←前のページへ　次のページへ→

ＤＶＤ再生

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

ＤＶＤ再生

DVD-VideoやVideo CDを再生するには、本製品付属の「WinDVD」をお使いください。

WinDVDの起動

[スタート] ― [プログラム(P)] ― [InterVideo WinDVD (またはインストール時に指定したフォルダ名)] ― [InterVideo WinDVD]と選択します。

←前のページへ 次のページへ→

地域(リージョン)コードの設定

次の手順で、再生するDVD-Videoの地域(リージョン)コードに合わせて設定してください。

1 WinDVDを起動します。

2 プレイヤー画面の[ボタン](プロパティ)ボタンをクリックします。

3

① 再生するDVD-Videoに合わせて地域コードを選択します。

② [適用(A)] をクリックします。

以上で地域(リージョン)コードの設定は完了です。

注意・メモ

注意

- 地域(リージョン)コードは、DVD-Videoを再生できる地域を限定するためのものです。本製品の地域コードとDVD-Videoの地域コードが合わないと再生できません。
- 出荷時に地域(リージョン)コードが設定されていないときは、必ず地域コードを設定してください。

メモ

- 日本国内向けに製造されたDVD-Videoを再生するときは、[2.西ヨーロッパ、日本、南アフリカ(W)]を選択します。
- 最初に設定した地域(リージョン)コードは、左記の手順で変更できます。

注意

変更できる回数は4回までです。5回以上は変更できません。

←前のページへ 次のページへ→

WinDVD の操作方法

WinDVDの基本的な操作方法を説明します。

<プレイヤー画面>

[1]　ヘルプ　ヘルプを表示します。

[2]　プレイリスト　プレイリストウィンドウを表示します。

[3]　ビデオタイトルごとにブックマーク(しおり)の位置を記録できます。好きなシーンや、途中で見るのをやめるときにブックマークを記録しておくと、次にそのタイトルを挿入したときに自動的にブックマークがロードされますので、好きな位置を選択して再生を再開することができます。

[4]　リピート　現在のタイトルまたはチャプターを繰り返し再生します。

[5]　ミュート　チェックすると、音声をミュート(消音)します。

[6]　再生　再生を開始します。

[7]　停止　再生を停止します。

[8]　ポーズ　再生を一時停止します。

[9]　ステップ再生　一時停止中にクリックすると、1コマ進みます。

[10]　前のチャプター　前のチャプターにジャンプします。

[11]　早戻し　早戻しで再生します。

[12]　早送り　早送りで再生します。

注意・メモ

メモ

詳しい操作方法はWinDVDのヘルプを参照してください。

←前のページへ　次のページへ→

[13] 次のチャプタ　次のチャプターにジャンプします。

[14] イジェクト　トレーを排出します。

[15] プロパティ　プロパティウィンドウを表示します。

[16] 拡張コントローラ　拡張コントローラを開いて追加機能の操作画面を表示します。

[17] ウィンドウを最小化、最大化したり、閉じたりできます。

[18] カーソルで選択したエリアを拡大表示・再生します。拡大表示中に画面をクリックすると、元のサイズに戻ります。

[19] 再生中のDVDタイトルで選択可能な全てのメニュー（ルートメニュー、オーディオメニュー、サブタイトルメニューなど）を表示します。表示したいメニューを選択してください。

[20] 再生中のDVDタイトルがマルチアングルをサポートしている場合、アングルを選択するメニューを開きます。リストの中から表示したいアングルを選択してください。

[21] 再生中のDVDタイトルがマルチオーディオをサポートしている場合、再生するオーディオを選択するメニューを開きます。リストの中から再生したいオーディオを選択してください。

[22] 再開　メニュー画面からビデオの再生を続行します。

[23] 矢印キー　メニューのコントロールなどナビゲーションに使用します。
上下左右の矢印で、メニューを選択し、中央のボタンで確定します。
※メニューを直接クリックして操作することも可能です。

[24] パン（移動）して表示する領域を変更します。

[25] 再生中のDVDタイトルがサブタイトル（字幕表示）をサポートしている場合、サブタイトルを選択するメニューを開きます。リストの中から表示したいサブタイトルを選択してください。

[26] 再生中のDVDタイトルの全てのチャプターを表示します。
現在再生中のチャプターにはチェックがついています。リストの中から再生したいチャプターを選択することもできます。

[27] 再生中のDVDタイトルで選択可能な全てのタイトルを表示します。
再生したいタイトルを選択してください。

[28] 数字キー　数字を選択する場合に使用します。
再生中に数字を入力することでチャプターを直接選択することもできます。選択したい数字をクリックし、右端の矢印ボタンをクリックします。

注意・メモ

←前のページへ　次のページへ→

静音ユーティリティの操作方法

「静音ユーティリティ」を使用すれば、読み出し速度を下げて静かに駆動します。
DVD-Videoを鑑賞したり音楽CDを聴くときにお使いください。

「静音ユーティリティ」が付属しない製品もあります。別紙「はじめにお読みください」にて付属品をご確認ください。

●使いかた

起動方法：タスクバー(タスクトレイ)の中にあるアイコンをダブルクリックします。

①対象ドライブを選択します。

②CD/DVDドライブ動作モードを選択します。
- 静音モード
  読み込み速度を低速に設定してドライブ騒音を軽減します。 DVDビデオ鑑賞や音楽CDを聴くときに最適です。
- 高速モード
  読み込み速度をドライブ能力の最大に設定します。データを読み出す時に最適です。

③[適用]をクリックします。

注意・メモ

メモ

「静音ユーティリティ」をアンインストールしたいときは、 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]を実行してください。[静音ユーティリティ]を選択して、[追加と削除]をクリックするとアンインストールされます。

←前のページへ 次のページへ→

取り扱いかた

☆本製品の取り外し

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

取り扱いかた

使用時の注意

●USBケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。

●メディアへの書き込み中や再生中に本製品を動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。

●本製品を不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。

●本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONの時でも、取り扱いかた-⑤「本製品の取り外し」に記載の手順でUSBケーブルを抜き差しできます。

●本製品の上に物を置かないでください。

注意・メモ

注意

本製品へのアクセス中は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。 データが破損するおそれがあります。

←前のページへ 次のページへ→

●本製品にセットしたメディアの音声を聴くには、Windows Media Player 7以降などデジタル再生に対応したプレーヤーで再生してください。

< Windows Media Player 7の設定手順 >
①Windows Media Player 7を起動します。
②メニューから[ツール(T)]－[オプション(O)]を選択します。
③ [CDオーディオ]タブをクリックします。
④ [再生の設定]項目中の[デジタル再生(K)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑤ [OK]をクリックします。

< Windows Media Player 8の設定手順 >
①Windows Media Player 8を起動します。
②メニューから[ツール(T)]－[オプション(O)]を選択します。
③ [デバイス]タブをクリックします。
④本製品のドライブ文字(例 E:)が表示されているドライブを選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。
⑤ [再生]項目中の[デジタル(D)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑥ [OK]をクリックします。設定画面を閉じてください。

注意・メモ

メモ

・WindowsMeにはWindows Media Player 7が標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。

・Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。

注意

パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

←前のページへ 次のページへ→

メディアの取り扱いに関する注意

メディアのわずかな傷や汚れの付着によっても正常に読み出し（書き込み）できなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

●直射日光に長時間さらさないでください。

●メディアに傷を付けないでください。

●記録面に手を触れないでください。

●記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。

●シールやラベルなどを貼らないでください。

●メディア同士を重ねないでください。

●レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

注意・メモ

メディアのセット／取り出し

●メディアをセットする
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアをセットします。
トレーは軽く押すと戻ります。

●メディアを取り出す
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。

注意・メモ

注意

- ドライブを縦置きにした場合、次のことに注意してください(コンパクトタイプのドライブを除く)。
  1. メディアにトレーのツメをかけてセットしてください。
  2. 8cmサイズのCDは使用できません。
- アクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。システムが停止するおそれがあります。
- PacketManでフォーマットしたメディアを取り出すときは、画面上でCD(CD-ROMドライブ)のアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択してください。
- WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある[イジェクト] アイコンをクリックしてください。
- PC連動AUTO電源機能を搭載した製品をお使いの場合、パソコンの電源がOFFのときイジェクトボタンを押してもトレーは出てきません。

本製品の取り外し

パソコンの電源スイッチがONのときに本製品を取り外すときは、必ず次の手順で行ってください。

1 本製品からメディアを取り出します。

2 タスクバー(タスクトレイ)に表示されているアイコン 、 または をクリックします。
※一部の製品ではクリックではなく、右クリックの場合があります。

3 取り外し(または停止)のメニュー項目をクリックします。

4 本製品を安全に取り外すことができるというメッセージが表示されたら、本製品を取り外します。

注意・メモ

メモ

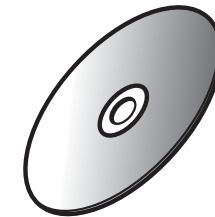
パソコンの電源スイッチがOFFのときは、そのまま取り外せます。

メモ

取り外し(または停止)のメニューに表示されるデバイス名は製品によって異なります。デバイス名については、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

←前のページへ 次のページへ→

ユーザーズマニュアル(PDFファイル)

IEEE1394で接続する方へ 外付ドライブ

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

次のページへ→

取り付け

取り付け

ソフトウェアのインストール

ＣＤ書き込み

ＤＶＤ再生

取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

←前のページへ 次のページへ→

取り付け

セットアップのながれ

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットする

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って
本製品をセットアップ(取り付け・ドライバのインストール)する

▼

付属のユーティリティCDで付属のソフトウェアをインストールする

注意・メモ

注意

- 別紙「はじめにお読みください」と併せてお読みください。
- 本製品を取り付ける前に、ハードディスクなどの大切なデータは他のメディアにバックアップ(保存)してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定は、各マニュアルを参照してください。

注意

本製品にユーティリティCDをセットしてドライバをインストールすることはできません。パソコンに標準搭載されているCD・DVDドライブに付属のCD-ROMをセットしてインストールしてください。CD・DVDドライブを搭載していないパソコンをお使いのときは、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)より、本製品のドライバディスクをダウンロードしてください。

←前のページへ 次のページへ→

取り付けの前に

本製品をパソコンに取り付ける前に、次の事項にご注意ください。

●本製品を取り付ける前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディアにバックアップ(保存)し、すべてのアプリケーションを終了してください。

●パソコン本体にIEEE1394コネクタが装備されていないときは、弊社製IEEE1394インターフェースを別途ご用意ください。

●　本製品は、パソコン本体(またはUSBハブ)のUSBコネクタか、IEEE1394コネクタに接続してください。両方のコネクタに同時に接続して使用することはできません。

●1台のパソコンに、USB/IEEE1394接続のCD・DVDドライブ(本製品を含む)を2台以上接続して使用することはできません。

●本製品は、パソコン本体の省電力機能(サスペンド機能、スリープ機能など)には対応していません。
パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。

●パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

●パソコンおよび本製品は精密機器です。別紙「はじめにお読みください」に記載されている「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。

●本製品で書き込みをしているときは、IEEE1394ケーブルに触れないでください。書き込み中にケーブルを抜き差しすると、正常に書き込めません。

●CyberTrio-NXがインストールされているPC98-NXシリーズでは、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windowsの設定が変更できないことがあります。
パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

注意・メモ

取り付け方法

付属のユーティリティCDに収録されている「簡単セットアップ」の指示に従ってセットアップ(取り付け・ドライバのインストール)をします。

セットアップが完了すると、本製品のデバイスが、デバイスマネージャに登録されます(デバイス名は製品によって異なります)。

注意・メモ

メモ

別紙 「はじめにお読みください」 を参照してセットアップしてください。

メモ

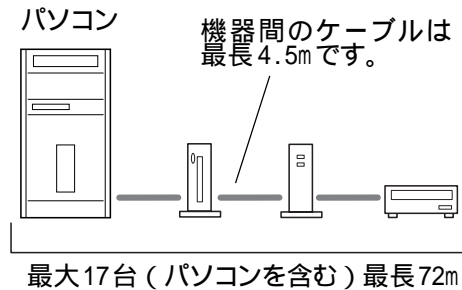
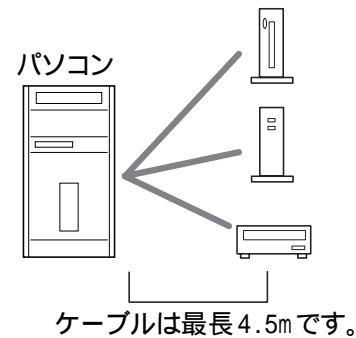
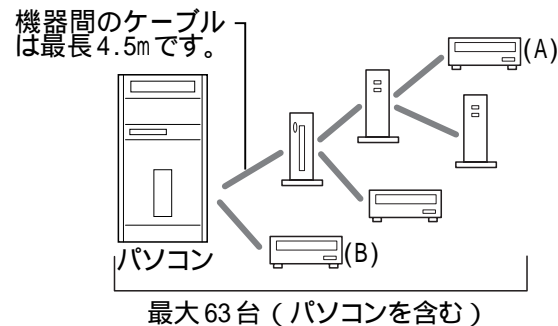
- 登録されるデバイス名については別紙「はじめにお読みください」を参照してください。
- デバイスマネージャの表示のさせ方についてはWindowsのヘルプを参照してください。

注意

- 必ず付属のケーブルで接続してください。付属品以外のケーブルでの使用は、弊社では保証しておりません。

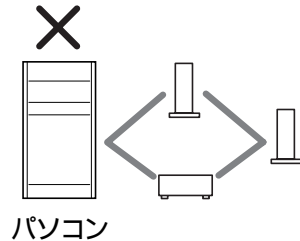
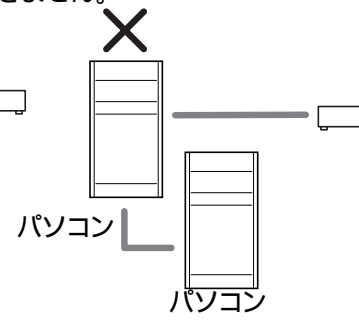
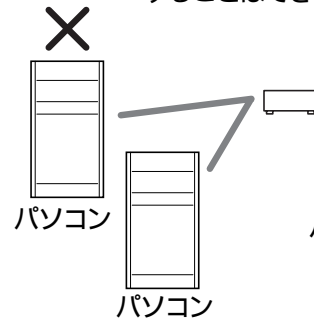
IEEE1394 機器の増設

本製品をIEEE1394ケーブルでパソコンに接続している場合、本製品の空いているIEEE1394コネクタに他のIEEE1394機器を接続することができます。

●デイジーチェーンの場合

●スター型の場合

●ツリー型の場合

※終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大16本（16ホップ）です。左図の例での終端は(A)と(B)となり、その間のケーブル数は①〜④の4本（4ホップ）となります。

注意・メモ

注意

- IEEE1394ケーブルからのバスパワーを必要とするIEEE1394機器は本製品に接続しないでください。
- 本製品の電源ケーブルをコンセントから取り外すと、本製品以降に接続している機器が使用できなくなります。
- 本製品をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本製品に接続したIEEE1394機器は使用できません。
- WinCDR Lite/WinCDR/MacCDRが起動しているときは、IEEE1394機器や本製品のIEEE1394ケーブルを抜き差ししないでください。正常に動作しなくなることがあります。

●次のような接続はできません。

●Windows98SEをお使いの場合、新しくIEEE1394機器を接続したときにWindows98SEのCD-ROMが求められることがあります。
その場合は、Windows98SE CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして [OK] をクリックしてください。IEEE1394ドライバがインストールされます。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

ソフトウェアのインストール

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

←前のページへ 次のページへ→

ソフトウェアのインストール

☆ライティングソフトウェアのインストール

CD-R/RWメディアに書き込みをするためには、ライティングソフトウェアをインストールする必要があります。

●必要なシステム環境
CD-R/RWメディアに書き込みするためには、次の環境が必要です。

CPU	PentiumI166MHz以上(PentiumII233MHz以上推奨)
メモリ	128MB以上(WindowsXP) 96MB以上(Windows2000) 64MB以上(WindowsMe/98SE/98)
グラフィック	解像度800×600ドット以上、 High Color(16ビット)色以上
ハードディスク容量	インストール時に20MB、 書き込みの一時的な作業領域として 約50～800MB必要

注意・メモ

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。
「簡単セットアップ」が起動します。

2 [WinCDR Liteのインストール](または、[PacketManのインストール]、[WinCDRのインストール])を選択し、[開始]をクリックします。
※製品によって付属するソフトウェアは異なります。

以降は、画面の表示に従ってインストールしてください。

注意・メモ

メモ

- 「簡単セットアップ」が起動しないときは、ユーティリティＣＤ内の アイコン(Easysetup.exe)をダブルクリックしてください。
- WinCDR Lite、WinCDR、PacketManの違いは、「ライティングソフトウェアの特徴」をお読みください。

注意

PacketManで書き込んだメディアを、PacketManをインストールしていないパソコンで読み出すには、ドライバをインストールする必要があります。
付属のユーティリティCDをセットし、簡単セットアップから[PacketMan Reader のインストール]を選択し、[開始]をクリックしてください。

←前のページへ 次のページへ→

☆プレーヤソフトウェアのインストール

DVD-VideoやVideo CDを再生するためには、本製品付属の「WinDVD」をインストールする必要があります。

●必要なシステム環境
WinDVDを使用するには、次の環境が必要です。

CPU	PentiumⅡ 350MHz以上
メモリ	64MB以上(WindowsXP/2000) 32MB以上(WindowsMe/98SE/98)
グラフィックボード	DirectX7およびハードウェアオーバーレイに対応したボード
ハードディスク容量	20MB以上の空き容量
サウンドボード	48KHzステレオ再生オーディオシステムに対応したボード(弊社製SDP-AU30など)

注意・メモ

注意

WinDVDは必ずインストールしてください。本製品にセットしたメディアから動画を再生するにはWinDVDを使用してください。

メモ

インストールの前に、本製品をパソコンに取り付けておいてください。

注意

- Permedia2を搭載するグラフィックボードには非対応です。
- WinDVDのReadmeファイルには、必要最低限の環境が記載されています。なめらかに動画を再生するためには、左記の環境が必要です。

←前のページへ 次のページへ→

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

2 [WinDVDのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

3 [WinDVDセットアップへようこそ]画面が表示されたら、[次へ(N)>]をクリックします。

4 [使用許諾契約]画面が表示されたら、内容をよく読んで[はい(Y)]をクリックします。

5 [ユーザの情報]画面が表示されたら、名前・所属・シリアル番号を入力し、[次へ(N)>]をクリックします。

6 [インストール先の選択]画面が表示されたら、インストールするフォルダを選択して[次へ(N)>]をクリックします。

注意・メモ

メモ

「簡単セットアップ」が起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内の アイコン(Easysetup.exe)をダブルクリックしてください。

メモ

[いいえ(N)] をクリックした場合、WinDVDのインストールは中断されます。

メモ

シリアル番号は、CD-ROMケースの表面に記載されている文字列です。

メモ

通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

←前のページへ 次のページへ→

7 [プログラムフォルダの選択] 画面が表示されたら、WinDVDを登録するフォルダを選択して [次へ(N)>] をクリックします。

8 [セットアップの完了] 画面が表示されたら、[完了] をクリックします。ファイルのコピーが開始されます。

9 [サードパーティーアプリケーション] 画面が表示されたら、「Microsoft DirectX8」と「Microsoft HTML Help」にチェックがついているのを確認して、[次へ(N)]をクリックします。

10 「Direct X setup needs to restart your machine. Please OK to restart now.」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。パソコンが再起動します。

以上でインストールは完了です。

注意・メモ

メモ

通常は初期設定から変更する必要はありません。

メモ

WindowsXP など、DirectX8 以降がインストールされているパソコンではこのメッセージは表示されません。

☆静音ユーティリティのインストール

「静音ユーティリティ」を使用すれば、読み出し速度を下げて静かに駆動します。必要に応じてインストールしてください。

「静音ユーティリティ」が付属しない製品もあります。別紙「はじめにお読みください」にて付属品をご確認ください。

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

2 [静音ユーティリティのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

以降は、画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

注意・メモ

メモ

「静音ユーティリティ」をアンインストールしたいときは、［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］から、［アプリケーションの追加と削除］を実行してください。［静音ユーティリティ］を選択して、［追加と削除］をクリックするとアンインストールされます。

ＣＤ書き込み

取り付け
ソフトウェアのインストール
ＣＤ書き込み
ＤＶＤ再生
取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

←前のページへ 次のページへ→

ＣＤ書き込み

☆書き込み

メディアにデータを書き込むときは、付属のライティングソフトウェアを使用します。

ライティングソフトウェアのインストール方法は、「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

注意・メモ

メモ

一度書き込んだCD-R/RWメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

ライティングソフトウェアの特徴

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」にて付属品をご確認ください。

●WinCDR(Windows用)
音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます(ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます)。

●WinCDR Lite(Windows用)
オリジナルの音楽CDやデータCDの作成、CDのバックアップが簡単にできるWinCDRの簡易版です(詳細設定はできません)。

- 音楽CDの作成・CDのバックアップはディスクアットワンス方式、データCDの作成はトラックアットワンス方式で書き込まれます。
- WinCDR Liteで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます(ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます)。

注意・メモ

メモ

- ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

メモ

- ディスクアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています(自動的に設定されます。個別設定はできません)。
- ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

←前のページへ 次のページへ→

製品によって付属するライティングソフトウェアは異なります。
別紙「はじめにお読みください」にて付属品をご確認ください。

●PacketMan(Windows用)

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

- 小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、ファイルを削除できます。

●MacCDR(MacOS用)

- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- CDのバックアップが可能です。
- HFS（Apple専用ファイルシステム）とHybrid（ISO9660とHFSフォーマットの混在フォーマット）での書き込みが可能です。

※ Hybrid形式で作成したCDは、MacintoshとWindowsの両方で読み出せます。

注意・メモ

メモ

- パケットライト方式の書き込みに対応しています。
- CD-RWメディアを使用している場合は、削除によって空き容量が増えますが、CD-Rメディアの場合は増えません（削除情報が書き込まれます）。

注意

100MBを超える大容量のファイルを書き込むときはWinCDRまたはWinCDR Liteを使用してください。

メモ

ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス方式の書き込みに対応しています。

注意

Macintoshのスリープ機能は必ず無効にしておいてください。有効になっていると、書き込みに失敗することがあります。

←前のページへ 次のページへ→

☆書き込み方式

メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。ライティングソフトによって対応している書き込み方式は異なります。【ライティングソフトウェアのヘルプ参照】

●ディスクアットワンス方式
- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

●トラックアットワンス方式
- ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記ができる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●セッションアットワンス方式
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●パケットライト方式
- パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込みができる。
- パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

注意・メモ

メモ
- 2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください（WinCDR、MacCDR）。
- 1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。

←前のページへ 次のページへ→

CD-RW の制限事項

●CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

●データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

●CD-RWメディアに4倍速を超える速度で書き込みをする場合、
HighSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。
HighSpeedに対応したCD-RWメディアには、次のロゴが表示されています。

●CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。

CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。

注意・メモ

メモ

このロゴは、フィリップス社が著作権を有しています。

メモ

使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

←前のページへ 次のページへ→

ＤＶＤ再生

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

ＤＶＤ再生

DVD-VideoやVideo CDを再生するには、本製品付属の「WinDVD」をお使いください。

WinDVDの起動

[スタート] − [プログラム(P)] − [InterVideo WinDVD (またはインストール時に指定したフォルダ名)] − [InterVideo WinDVD]と選択します。

注意・メモ

地域(リージョン)コードの設定

次の手順で、再生するDVD-Videoの地域(リージョン)コードに合わせて設定してください。

1 WinDVDを起動します。

2 プレイヤー画面の［アイコン］(プロパティ)ボタンをクリックします。

3

①再生するDVD-Videoに合わせて地域コードを選択します。

②［適用(A)］をクリックします。

以上で地域(リージョン)コードの設定は完了です。

注意・メモ

注意

・地域(リージョン)コードは、DVD-Videoを再生できる地域を限定するためのものです。本製品の地域コードとDVD-Videoの地域コードが合わないと再生できません。

・出荷時に地域(リージョン)コードが設定されていないときは、必ず地域コードを設定してください。

メモ

・日本国内向けに製造されたDVD-Videoを再生するときは、［2.西ヨーロッパ、日本、南アフリカ(W)］を選択します。

・最初に設定した地域(リージョン)コードは、左記の手順で変更できます。

注意

変更できる回数は4回までです。5回以上は変更できません。

←前のページへ 次のページへ→

☆WinDVD の操作方法

WinDVDの基本的な操作方法を説明します。

<プレイヤー画面>

[1] ヘルプ ヘルプを表示します。

[2] プレイリスト プレイリストウィンドウを表示します。

[3] ビデオタイトルごとにブックマーク（しおり）の位置を記録できます。好きなシーンや、途中で見るのをやめるときにブックマークを記録しておくと、次にそのタイトルを挿入したときに自動的にブックマークがロードされますので、好きな位置を選択して再生を再開することができます。

[4] リピート 現在のタイトルまたはチャプターを繰り返し再生します。

[5] ミュート チェックすると、音声をミュート（消音）します。

[6] 再生 再生を開始します。

[7] 停止 再生を停止します。

[8] ポーズ 再生を一時停止します。

[9] ステップ再生 一時停止中にクリックすると、1コマ進みます。

[10] 前のチャプター 前のチャプターにジャンプします。

[11] 早戻し 早戻しで再生します。

[12] 早送り 早送りで再生します。

注意・メモ

メモ

詳しい操作方法はWinDVDのヘルプを参照してください。

←前のページへ 次のページへ→

[13] 次のチャプタ　次のチャプターにジャンプします。

[14] イジェクト　トレーを排出します。

[15] プロパティ　プロパティウィンドウを表示します。

[16] 拡張コントローラ　拡張コントローラを開いて追加機能の操作画面を表示します。

[17] ウィンドウを最小化、最大化したり、閉じたりできます。

[18] カーソルで選択したエリアを拡大表示・再生します。拡大表示中に画面をクリックすると、元のサイズに戻ります。

[19] 再生中のDVDタイトルで選択可能な全てのメニュー（ルートメニュー、オーディオメニュー、サブタイトルメニューなど）を表示します。表示したいメニューを選択してください。

[20] 再生中のDVDタイトルがマルチアングルをサポートしている場合、アングルを選択するメニューを開きます。リストの中から表示したいアングルを選択してください。

[21] 再生中のDVDタイトルがマルチオーディオをサポートしている場合、再生するオーディオを選択するメニューを開きます。リストの中から再生したいオーディオを選択してください。

[22] 再開　メニュー画面からビデオの再生を続行します。

[23] 矢印キー　メニューのコントロールなどナビゲーションに使用します。
上下左右の矢印で、メニューを選択し、中央のボタンで確定します。
※メニューを直接クリックして操作することも可能です。

[24] パン（移動）して表示する領域を変更します。

[25] 再生中のDVDタイトルがサブタイトル（字幕表示）をサポートしている場合、サブタイトルを選択するメニューを開きます。リストの中から表示したいサブタイトルを選択してください。

[26] 再生中のDVDタイトルの全てのチャプターを表示します。
現在再生中のチャプターにはチェックがついています。リストの中から再生したいチャプターを選択することもできます。

[27] 再生中のDVDタイトルで選択可能な全てのタイトルを表示します。
再生したいタイトルを選択してください。

[28] 数字キー　数字を選択する場合に使用します。
再生中に数字を入力することでチャプターを直接選択することもできます。選択したい数字をクリックし、右端の矢印ボタンをクリックします。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

☆静音ユーティリティの操作方法

「静音ユーティリティ」を使用すれば、読み出し速度を下げて静かに駆動します。DVD-Videoを鑑賞したり音楽CDを聴くときにお使いください。

「静音ユーティリティ」が付属しない製品もあります。別紙「はじめにお読みください」にて付属品をご確認ください。

●使いかた

起動方法：タスクバー(タスクトレイ)の中にあるアイコンをダブルクリックします。

① 対象ドライブを選択します。

② CD/DVDドライブ動作モードを選択します。
- 静音モード
  読み込み速度を低速に設定してドライブ騒音を軽減します。 DVDビデオ鑑賞や音楽CDを聴くときに最適です。
- 高速モード
  読み込み速度をドライブ能力の最大に設定します。データを読み出す時に最適です。

③ [適用]をクリックします。

注意・メモ

メモ

「静音ユーティリティ」をアンインストールしたいときは、 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]を実行してください。[静音ユーティリティ]を選択して、[追加と削除]をクリックするとアンインストールされます。

取り扱いかた

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

最新の情報は、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

取り扱いかた

使用時の注意

●IEEE1394ケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。

●メディアへの書き込み中や再生中に本製品を動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。

●本製品を不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。

●本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONの時でも、取り扱いかた-⑤「本製品の取り外し」に記載の手順でIEEE1394ケーブルを抜き差しできます。

●本製品の上に物を置かないでください。

注意・メモ

注意

本製品へのアクセス中は、絶対にIEEE1394 ケーブルを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

←前のページへ 次のページへ→

●本製品にセットしたメディアの音声を聴くには、Windows Media Player 7以降などデジタル再生に対応したプレーヤーで再生してください。

< Windows Media Player 7の設定手順 >
①Windows Media Player 7を起動します。
②メニューから[ツール(T)]－[オプション(O)]を選択します。
③ [CDオーディオ]タブをクリックします。
④ [再生の設定]項目中の[デジタル再生(K)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑤ [OK]をクリックします。

< Windows Media Player 8の設定手順 >
①Windows Media Player 8を起動します。
②メニューから[ツール(T)]－[オプション(O)]を選択します。
③ [デバイス]タブをクリックします。
④本製品のドライブ文字(例 E:)が表示されているドライブを選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。
⑤ [再生]項目中の[デジタル(D)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑥ [OK]をクリックします。設定画面を閉じてください。

注意・メモ

メモ

•WindowsMeにはWindows Media Player 7が標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。

•Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。

注意

パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

←前のページへ 次のページへ→

メディアの取り扱いに関する注意

メディアのわずかな傷や汚れの付着によっても正常に読み出し（書き込み）できなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

●直射日光に長時間さらさないでください。

●メディアに傷を付けないでください。

●記録面に手を触れないでください。

●記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。

●シールやラベルなどを貼らないでください。

●メディア同士を重ねないでください。

●レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

メディアのセット／取り出し

●メディアをセットする
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアをセットします。
トレーは軽く押すと戻ります。

●メディアを取り出す
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。

注意・メモ

注意

・ドライブを縦置きにした場合、次のことに注意してください(コンパクトタイプのドライブを除く)。
 1.メディアにトレーのツメをかけてセットしてください。
 2.8cmサイズのCDは使用できません。

・アクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。システムが停止するおそれがあります。

・PacketManでフォーマットしたメディアを取り出すときは、画面上でCD(CD-ROMドライブ)のアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択してください。

・WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある[イジェクト]アイコンをクリックしてください。

・PC連動AUTO電源機能を搭載した製品をお使いの場合、パソコンの電源がOFFのときイジェクトボタンを押してもトレーは出てきません。

←前のページへ 次のページへ→

本製品の取り外し

パソコンの電源スイッチがONのときに本製品を取り外すときは、必ず次の手順で行ってください。

1 本製品からメディアを取り出します。

2 タスクバー(タスクトレイ)に表示されているアイコン をクリックします。
※一部の製品ではクリックではなく、右クリックの場合があります。

3 取り外し(または停止)のメニュー項目をクリックします。

4 本製品を安全に取り外すことができるというメッセージが表示されたら、本製品を取り外します。

注意・メモ

メモ

パソコンの電源スイッチがOFFのときは、そのまま取り外せます。

メモ

取り外し(または停止)のメニューに表示されるデバイス名は製品によって異なります。デバイス名については、別紙「はじめにお読みください」 を参照してください。

←前のページへ 次のページへ→

ご注意

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

■i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKはソニー株式会社の商標です。その他、本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの 安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップ作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

■本書では、Microsoft社 Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。

■本書では、Microsoft社 Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

←前のページへ 次のページへ→

保証書について

本製品には保証書が添付されています。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、大切に保管してください。

ユーザー登録について

弊社ホームページ(https://online.melcoinc.co.jp/user_t/index.html)にて、ユーザー登録できます。

※ユーザー登録時、製品シリアルNo.の入力が必要となります。製品シリアルNo.は、製品本体にシールで貼り付けられていますので、パソコンに取り付ける前にご確認ください。

※ユーザー登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

※ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

※本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

①**返送先** ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
②**平日昼間の連絡先** ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③**修理対象のメルコ製品名**
④**弊社製品ハードウェア シリアルナンバー**
⑤**弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー**
⑥**具体的な症状/エラーメッセージ**
⑦**発生状況** ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧**発生頻度** ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨**コンピュータ** ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩**ハードディスク** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪**ディスプレイ** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫**その他周辺機器** ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬**OS(オペレーティング・システム)** ［ソフト名/メーカ名/バージョン］

製品送付先　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号　052-619-1289

※ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンターへお願いします。
※宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。
※修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

CD-RW/DVD-ROMドライブユーザーズマニュアル
2002年6月10日 初版発行
発行　株式会社メルコ
PY00-27214-DM10-01 1-01

←前のページへ